

■ 8. 第5段階：介護老人保健施設介護技術5（第11～13週） ■

●時間数

105時間

●到達目標

- ・ケアプランを理解する
- ・チームケアであることを理解する
- ・介護職の役割と多職種連携の重要性を理解する

●課題

- ・訓練の最終週であり、訓練生が基本的な知識、技術を習得できたかの総括が必要
- ・今後、介護職として働くための訓練期間のまとめであり、職業人としての新たな出発でもある

評価票で評価を行う。評価票は訓練開始時に訓練生に手渡しておく。訓練生は各項目で自己評価を行う。指導者は職員と協議のうえ、やはり評価を行う。総括時、訓練生と指導者（指導者評価）とで評価の異なる項目について、重点的に振り返りを行い、第6段階へのフォローアップの課題を明確にする。ケアプランを1件作成するが、これは学んできた介護の理念、知識、技術を具体的に確認する作業である。老健施設のケアがチームケアであり、介護職の役割と多職種連携の重要性を理解するまとめの学習課題でもある。

●移動・リハビリ

- ・理念、知識、技術を総括し、評価する

●栄養と食事

- ・理念、知識、技術を総括し、評価する

●排泄

- ・理念、知識、技術を総括し、評価する

●更衣・整容介助

- ・理念、知識、技術を総括し、評価する

●入浴の意義・方法

- ・理念、知識、技術を総括し、評価する

●レクリエーション・集団リハ

- ・理念、知識、技術を総括し、評価する

●記録

- ・ケアプランを1件作成する

●訓練方法

- ・指導者が中心になってまとめを行う
- ・先輩職員から評価を得る
- ・訓練生の総括を文書にする